

2016年3月8日

各 位

大阪信用金庫
理事長 樋野 征治

特別調査

「TPPや原油安、円安が及ぼす影響」について

- ☆TPP 中小企業の9割が実感せず
- ☆原油安 半数近くがプラス影響実感
- ☆円安 7割が「特に影響なし」 マイナス影響がプラス影響上回る

●TPP 中小企業の9割が実感せず

TPPが自社に及ぼす影響について、「特に影響なし」が44.6%、「わからない」が43.6%となりました。また、全ての業種で「良い影響を期待する企業」(8.9%)が「悪い影響を懸念する企業」(2.9%)を上回っています。

このことから、中小企業にも恩恵をもたらすといわれるTPPですが、その影響は未知数と言わざるを得ません。その背景には、TPPの合意内容がわからず、実感がともなわれないことにあると思われます。また、TPP発効に向けて、海外との取引を考える企業はわずか1.7%に止まりました。今後、中小企業に向けてさらにわかりやすい具体的な説明が求められると思われます。

●原油安 半数近くがプラス影響実感

原油安について、43.4%がプラスの影響を実感しています。そのプラスの影響とは、「エネルギー価格の下落による利益の増加」が75.5%と圧倒的に多くなり、運輸業ではほとんどの企業でプラスの影響を実感しています。しかし、原油安は利益の増加に直接つながるものの、次の段階として国内景気の回復や売上高の増加に結び付くにはまだ時間が必要と思われる。

●円安 7割が「特に影響なし」 マイナス影響がプラス影響上回る

120円前後の円相場について、7割の企業が特に影響はないと回答しました。また、マイナスの影響がプラスの影響を少し上回っています。円安は、大手製造業には大きなプラスとなりましたが、中小企業にとっては必ずしもプラスとは限らないことがわかりました。

マイナスの影響の中では、「仕入価格の上昇による利益の減少」が7割となり、収益に大きな影響を及ぼしています。

調査時点：2016年2月中旬
対象企業：当金庫お取引先1,783社（大阪府内、尼崎市）
回答企業：1,265社（回答率70.9%）
調査方法：調査票郵送および聞き取り調査

本調査に関するお問い合わせは下記までお願いします
株式会社だいしん総合研究所（担当：平山）
TEL：(06)6211-2921 FAX：(06)6211-2930
E-mail：souken@osaka-shinkin.co.jp
URL <http://www.osaka-shinkin.co.jp>